

お茶の間

2017
秋冬号■編集/発行
高橋正子事務所〒491-0044
一宮市大宮 1-3-6
グランドメゾン大宮 1F
TEL(0586)71-2900
FAX(0586)71-5380料金後納
郵便

ゆうメール

高橋正子県政報告

PRESS

愛知県議会議員
高橋 正子
(一宮市選出)

ご家族の皆さままでご覧ください。

身近で分かりやすい会報をお届けします。



愛知県議会9月定例会は10月13日に閉会しましたので報告致します。

1頁

約45億円の一般会計補正予算案など、21議案を可決！

2~3頁

愛知県議会9月定例議会一般質問者として、9月27日登壇しました！

4頁

平成29年9月愛知県議会警察委員会「特殊詐欺の現状と摘発について」質問しました。



約45億円の一般会計補正予算案など、21議案を可決！



愛知県議会 9 月定例会は 9 月 21 日に開会し、10 月 13 日に可決成立し閉会。名古屋市中区の愛知県体育館の移転に関連する調査費 2,000 万円や、子どもの貧困対策強化へ 900 万円を計上。愛知県体育館は大相撲名古屋場所の開催会場だが、老朽化が深刻になっていた。県と名古屋市は、名古屋城二の丸内の現在地から、北側の名城公園北園に移転する方針を決めている。また、子どもの貧困対策は、「子ども食堂」の支援を進め、まだ食べられるのに破棄される食品を集めて提供するフードバンクとの連携への調査費として 270 万円を計上した。

母校である県立瑞陵高校(名古屋市瑞穂区)に 杉原千畝顕彰施設を平成30年10月頃オープン！



杉原千畝氏の功績に対する
県内外の関心の高まりを受け、
顕彰施設の展示の拡充を図る。
債務負担行為 6,400 万円

「命のビザ」で知られる外交官・杉原千畝氏の母校である県立瑞陵高校に、屋外型顕彰施設をオープン。

【主な展示内容】

●人道的な功績を称える象徴的なモニュメントの設置

○杉原千畝氏の執務姿の立体像

○同氏が発給したビザのリスト

●外交官としての仕事とその意志を受け継いだ人々

○外務省外交史料館所蔵の公電資料

●学生時代に関する展示

○県立第五中学校(現・瑞陵高校)在校当時の作文

信号機の LED 化と道路標示の舗装、 道路標識の設置に増額予算！

交通死亡事故抑止に向けて、
交通安全対策を強化。

予算額 1億1,048万3千円



交通事故多発交差点においてドライバーや自転車利用者、歩行者の視認性を高め、交通事故抑止効果の高い信号灯器のLED化等の交通安全施設を緊急に整備し交通安全対策を推進。

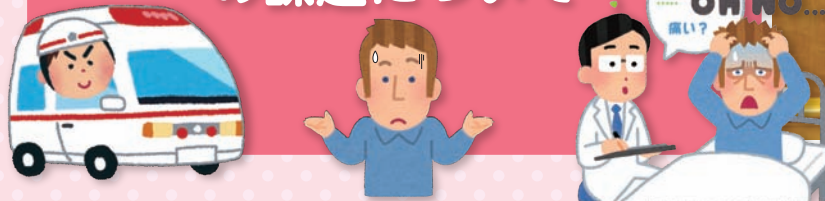
◇信号灯器のLED化563本 ◇道路標識の更新390本 ◇道路標示の更新42km

愛知県で交通事故が多発する要因！

■車両台数全国 1 位！かつ自動車の利用割合が多い。

■道路延長は全国第 3 位、道路面積第 2 位、信号機の多さ第 2 位。道路が広ければ自動車の速度が上がリ、交差点が大きければ右左折時の速度も上がるので、交通事故が重大なものとなりやすい。

“外国人傷病者”の 救急搬送と救急外来 の課題について？



外 国人県民は現在、約 22 万人で、さらに今後、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催までに世界各国から本県に外国人観光客を誘客するとしている。

そんな中、こうした訪日外国人の増加で、急な病気やケガなどによる外国人傷病者からの 119 番通報が増え、救急活動の現場において“言葉の壁”にぶつかり、意思疎通に四苦八苦する現状が問題視されている。

救急隊がしばし外国人の救急事例に遭遇することから、各消防本部では「言葉が通じない」壁をクリアするために、それぞれが工夫を凝らして救急搬送にあたっていると推測される。

Q 県内の外国人傷病者の救急搬送について、本県の消防本部の取組状況はいかがか？

A 【防災局長】日本語での意思疎通が困難であった場合に、傷病者の症状を把握するための取組としては、イラストや文字が書かれたボードや、外国語と日本語が記入されている問診シートを使用する方法で対応している消防本部が、県内36消防本部のうち28消防本部。また、電話通訳センターを介した三者間同時通訳を導入している消防本部が6、総務省消防庁が本年度から導入した多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」を運用しているのは11消防本部。

外国人からの 119 番通報が増加すれば、英語のみならず多言語での対応も迫られることが予想される。今年 1 月から多言語での救急搬送に対応できるよう、外国語による 119 番通報時に“電話通訳センター”を介した三者間同時通訳ができる体制が整備された。さらに、4 月からは全国の消防本部に向けて、救急用のフレーズや傷病者とのやりとりの面で使い勝手のよいスマートホン用多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」の無料提供を開始。症状に関する質問と回答を英語、中国語、スペイン語、フランス語など 15 の多言語でやりとりできるスグレモノで、話をした言葉が日本語文字として表記されることで、聴覚障害者などとのコミュニケーションにも活躍が可能。

Q 本県として、県内各消防本部の多言語対応をどのように推進していくのか？

A 【防災局長】現状では、ボードや問診シートの活用でも一定の対応ができていますが、よりの確な症状が把握できる三者間同時通訳や「救急ボイストラ」の導入が進むことが望ましいと考える。既に導入している消防本部から、運用状況を詳しく聴き取りして、未実施の消防本部にも、有益な情報を提供していく。

平成29年9月定例県議会

一般質問に登壇しました



外国人患者の救急外来での対応について、厚生労働省では昨年、全国 3,761 の医療機関などを対象に『外国人患者の受け入れ実態調査』を行なった。回答を寄せた 1,710 の医療機関のうち、2015 年度に在日外国人や外国人旅行者を患者として受け入れた医療機関は全体の 79.7%にあたる 1,363 か所で、65.3%の医療機関が「日本語でのコミュニケーションが難しい患者がいた」と答えた。

そこで、本県でも外国人患者の救急外来における課題を精査するためにも「本県独自の実態把握」の必要性を感じる。

Q 本県として、外国人患者の救急外来の受け入れの現状、実態について、どの程度把握しているのか？

A 【保健医療局長】県内の22か所の救命救急センターのうち、外国人患者の受入れ人数の統計をとっている13か所の平成28年度の受入れ状況は、合計で7,411人。日本語でのコミュニケーションが難しい外国人患者の対応について、救命救急センターにおいては、医療通訳の配置や病院の職員による対応が13か所、電話通訳の活用が17か所、音声翻訳アプリケーションの活用が3か所となっている。

一方で、救命救急センター以外の救急医療機関における外国人患者の受入れ実態については、現時点では把握しておらず、**今年度中に、救急医療を実施している147の救急告示病院を対象に、外国人患者の受入れ状況や、言語対応の体制などに関する実態調査を実施する。**

過去に実施した県民意識調査では「外国人の困ったこと」の第1位は「病院でのコミュニケーション」で、カタコトの日本語はわかっても、専門用語が使われる医療の場では言葉も通じず、不安を抱く外国人は少なくない。そこで、外国人患者の受け入れが可能な条件を揃える医療機関の整備が求められる。

Q 外国人救急患者に必要な医療を提供するため、外国語に対応できる救急医療機関の情報を提供する体制についてうかがう。

A 【保健医療局長】愛知県医師会への委託により運営している「あいち救急医療ガイド」では、「外国語対応可能な病院、診療所」として、英語、中国語、ポルトガル語など、13の言語への医療機関の対応状況を日本語及び英語で提供し、平成28年度は、8,784件のアクセスがあった。今後は、観光局とも連携し、このサイトを活用して「あいち救急医療ガイド」の周知を外国人観光客に図っていく。

女 性としてあるべき固定的役割分担意識が強く、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」の考えに「賛成」の人の割合が全国平均よりも高い。勤労者全体で働く女性の占める割合も、女性管理職の登用も全国平均に比べて低く、女性の活躍促進に理解のある土地柄とは言い難い。そこで、どこかで男女共同参画社会の実現に向けて風穴を開ける必要があったのを、平成 25 年 7 月に本県初の女性副知事に就任した厚生労働省出身の吉本明子氏がその先頭に立ちたと振り返る。まずは県職員の女性管理職の登用拡大に意欲を示し、平成 25 年 4 月の知事部局の管理職に占める女性の割合は 6.7%で 78 人だったのを、直近の平成 29 年 4 月には 9.7%、117 人にまで押し上げた。管理職全体の約 1 割が女性の登用となった現在、愛知県庁に吹く風は変わったのではないかと感じる。

Q 女性管理職の拡大は、県庁にどのような変化、効果をもたらしているか？

A 【人事担当局長】本県では、平成32年度末までに知事部局等における管理職に占める女性の割合を10%にするという数値目標を掲げ、女性職員の登用を進めている。

こうした中、事務職の女性職員を初めて本庁の部長に登用したほか、次長、主管課長など、これまで女性が配置されてこなかった主要ポストへの女性登用を一層進め、政策立案の過程において、これまで以上に多様な視点からの提案がなされる機会が増えていると考えている。

平成 25 年 9 月に各部局で女性活躍促進に向けての課題を洗い出して「女性が元気に働き続けられる愛知」の実現を目指した「あいち女性の活躍促進プロジェクトチーム」を庁内に設置し、現在では 47 事業を展開中。

また、平成 27 年度には、女性の活躍と雇用の拡大を通じた人材の確保・育成、生産性向上、新たな産業の創出を目的に、幅広い業種企業の人事担当者、女性起業家、女性管理職をメンバーとする「あいち・ウーマノミクス研究会」を設置。女性の活躍に取り組む企業の「あいち女性輝きカンパニー」の認証や優良企業表彰や、今年度は地方銀行と連携した中小企業等へ県の女性活躍促進プロジェクトの普及活動にも力を入れる。

本県は、固定的役割分担意識の強い古典的地域性が働く女性の占める割合も、女性管理職の登用も、全国平均に比べて低いと評価されてきた。「あいち女性の活躍促進プロジェクト」を立ち上げて丸 4 年。節目の 5 年目に入る前に、ここでこれまでの取組みの成果を検証する必要性を感じる。

愛知の「女性の活躍」は 進んだのか？ ～女性活躍促進施策の検証と 今後の取組について～

平成 26 年夏に県内の 11000 社を対象に、職場での女性の活躍について現状と認識をアンケート調査した「女性の活躍『見える化』調査」で、**女性の管理職や従業員が増えている企業ほど売上高や経常利益が伸びているケースが多く、それは製造業に限っても同様である**…という結果であった。



Q 「あいち女性の活躍促進プロジェクト」において、本県の特長と課題を踏まえた多岐にわたる事業を展開中である。主要事業の進捗と成果の検証、課題の精査を踏まえ、愛知の女性の活躍は進んだのか？

A 【県民生活部長】企業トップからのメッセージや取組を表明する「女性の活躍促進宣言」は、平成32年度末までの目標1,000社に対し、8月末現在で935社、積極的な取組を県が認証する「あいち女性輝きカンパニー」は、平成32年度末までの目標400社に対し、8月末現在で301社となった。本県の女性の活躍は、進みつつあり、中小企業へのきめ細かな対応が必要と考えている。

初代女性副知事の吉本明子氏は、庁内にプロジェクトチームを設置するなど女性活躍の土台作りを、二代目・堀井奈津子副知事は、中小企業での女性の活躍促進や男性の多い職場でも女性が働きやすい環境づくりの推進、女性の活躍に取組む企業に対しての認証や優良企業表彰に取組んでこられた。

Q 三代目の宮本悦子副知事は本県の女性活躍の現状を見たうえで、今後どのように進めていこうと考えておられるか？

A 【宮本副知事】吉本元副知事、堀井前副知事が取り組んでこられた成果をしっかりと受け取り、ワーク・ライフ・バランスの推進、保育サービスの充実などを一層進めていく。若年女性の東京圏への転出超過などの新たな課題にも挑戦し、プロジェクトの更なる深化・充実を図っていきたい。愛知県の総合力は非常に高く、勢いのある県だと感じている。今後、多くの現場に出向き、若い女性や中小企業経営者などから、愛知の現状や課題、解決への糸口につながる意見を聞き、しっかりと取り組んでいく。



平成29年9月愛知県議会 警察委員会

「特殊詐欺の現状と摘発」について

質問
しました!

Q 本県の特特殊詐欺の認知件数と被害総額は？
また、主流の犯行手口は？

A 【刑事部長】愛知県の昨年一年間(平成28年)の特特殊詐欺の認知件数は1,060件、被害総額は約34億4,708万円で、過去最悪。本県で多発している手口は、有料サイトの未納料名目で平成23年以降最悪となっている。現金振込などにより支払わせてだまし取る架空請求詐欺や、キャッシュカードをだましとり、口座から現金を払い出して盗むオレオレ詐欺などが多い。

Q 本県は「だまされたふり作戦」を強化している
と聞か、これまでの実績と、不安を抱く協力者
へのフォローは？

A 【刑事部長】昨年4月から捜査第二課特特殊詐欺対策室に、だまされたふり作戦を専従で行う「現場特定捜査係」を発足。昨年一年間にだまされたふり作戦を438回実施し、特殊詐欺実行犯を76事件、81名を検挙した。被害者への協力依頼は、被害者の正義感に頼るところが多く、被害者に過剰な負担を強いるようなことがないように、また作戦終了後にはまかり間違っても協力者が特殊詐欺実行犯から報復、仕返しなどを受けることのないように万全を期している。

Q 本年9月に埼玉県で83歳女性が「オレオレ詐欺」を見破り、だまされたふり作戦に協力したところ、その作戦自体が詐欺で現金100万円をだまし取られた事件が発生している。本県として、強化する「だまされたふり作戦」を逆手に取った手口に対して、どのように対応していくのか？

A 【刑事部長】「だまされたふり作戦」を逆手にとった事案は、本県でもこの3月に発生。警察官を名乗る男から「犯人を捕まえたいから協力してほしい」と言われ、犯人の指示に従って現金400万円を送付し、騙されてしまったというケースがあった。「だまされたふり作戦」を依頼する場合は、必ず手帳を持った刑事が直接してほしい、あくまでも「ふり」なので実際に本物の現金を渡したり、遅らせたりすることは絶対にない。不信とおもえばまず110番通報をしてもらうことが重要で、今後とも県民に周知を図っていききたい。

「だまされたふり作戦」を逆手に取った
新手のオレオレ詐欺に注意!

埼玉県内の83歳の女性宅にこの9月、甥を名乗る男から「車の事故に遭った」と電話があった。女性は本人(甥)と連絡をとったところ、これは「オレオレ詐欺」の電話だ!と見破った。その後、「犯人を捕まえのために捜査に協力してほしい」と警察官を名乗る電話があり、これを信じて現金100万円を、だまされたふり作戦に協力する思いで犯人にわたした。ところがその後、男と連絡がとれなくなり、女性はだまされたことに気付いたという。



プロフィール

- 昭和57年3月 愛知学院大学法学部法律学科卒業
- 昭和58年4月 (株)一宮タイムス社編集部に入社
- 昭和63年8月 一宮タウン情報誌「EGG」を創刊、編集長
- 平成12年2月 (株)お茶の間通信社を設立、代表取締役
- 平成15年4月～ 愛知県議会議員に初当選、以後連続当選し現在4期目

愛知県議会議員おもな役職・職務実績

- 平成19年5月～20年5月 民主党愛知県議員団政務調査会長
- 平成21年5月～22年5月 愛知県議会健康福祉委員会委員長
- 平成24年5月～25年5月 民主党愛知県議員団幹事長
- 平成25年5月～26年5月 名古屋港管理組合議会監査委員
- 平成26年5月～27年5月 民主党愛知県議員団副団長
- 平成27年5月～28年5月 産業振興・環境対策特別委員会委員長
- 平成29年5月～30年5月 名古屋競輪組合議会議長

事務所のご案内



〒491-0044
一宮市大宮1-3-6
グランドメゾン大宮1F
TEL(0586)71-2900
FAX(0586)71-5380



<http://www.masakonet.info>
E-mail 138@masakonet.info